

「パー券過大に販売」

新総務相に政治資金疑惑 赤旗報道

松本氏 適切処理を強調

松本剛朗新総務相の資金管理団体が会場収容人数を超えるパーティ券を販売し、政治資金規正法違反の

疑いがあると兵庫党機関紙「しんぶん赤旗」が22日、報じた。松本氏は就任記者会見で法の趣旨を理解し、

法にのっとり適切に処理している」と強調した。共産党は岸田文雄首相の任命責任を追究した。



就任記者会見をする松本総務相。22日午後、総務省

首相は22日の参院本会議で、松本氏の疑惑が報じられたことに関し「まずは本人から適切に説明すべき」と

のた」と述べた。共産党の紙管子氏の質問に答えた。「松本だけあき後援会」の政治資金収支報告書によ

ると、団体は2018、20年、毎年9月に兵庫県姫路市内の二つのいずれかのホテルでパーティを開く。収入は18年と19年が2160万円、20年が1988万円だった。赤旗は、パーティ券が1枚2万円の場合、毎年約千人分の購入があったとみられ、会場の最大収容人数400〜600人を超過すると報じた。

二つのホテルは共同連借の取材に対し、パーティでは宴会場前のロビーを貸し切ることもあるなどとして「千人程度入ることは可能」と回答。ただ当時のパーティの状況については「お答えできない」「把握していない」とした。会見で松本氏はパーティ券の価格など詳細に関し「現段階では正確な答えができない」と話した。

政府一丸で国政運営に取り組むことで職責を果たすとした。紙氏は1カ月弱で3人の閣僚が辞任に追い込まれたことについて「異議申し立て」と指摘し、内閣総辞職すべきだと迫った。秋葉賢也復興相、岡田直樹地方創生担当相も「政治とカネ」の問題が指摘される。共産の小池晃書記局長は「首相の任命責任は免れない」と語った。

首相は参院本会議で、寺田稔前総務相と野田聖一前法相の更迭に関し「誠に遺憾であり、任命責任を重く受け止めている」と陳謝。

松野博一官房長官や自民党の世耕弘成参院幹事長は会見で、松本氏の適切な説明を求めた。